様似テレビ中継局から受診してデジタル方法をご覧の皆さんへ

デジサポ道央からの～重要なお知らせ～

平成２３年１０月３１日（月）の放送開始から、様似テレビ中継局の送信チャンネルの一部が変わるため、テレビが映らなくなる可能性があります。

町内幌別地区などで様似テレビ中継局から電波を受信してテレビをご覧の世帯は「チャンネルの再設定」が必要となります。

放　送　局	リモコン番　号	チャンネルの変更
札幌テレビ放送（ＳＴＶ）	5	59ch→**38ch**
テレビ北海道　（ＴＶＨ）	7	56ch→**36ch**

※浦河テレビ中継局を受信してテレビをご覧の世帯は、チャンネル変更がなく、そのまま視聴できます。

【お問い合わせ窓口】
「チャンネル変更コールセンター」
電話　０１２０－９２２－３０３
※ＩＰ電話などで上記につながらない場合は、03-4321-0770
受付時間　平日９：００～２１：００、土日・祝９：００～１８：００

重要なお願い

- チャンネル変更の前日にテレビを見終わった後は、リモコンで画面を消すようにしてください。テレビが常に最新の状態になるように調整する機能があります。電源コンセントを抜いてしまうと機能しなくなります。
- テレビが映らなくなった場合に備えて、「チャンネルの再設定」等の方法を地デジ受信機の取扱説明書、またはデジサポのホームページ（http://digisuppo.jp/index.php/repack/）にも取扱説明書の一部を掲載しておりますので、確認しておいてください。
- テレビなどがこれまで通り受信できているか、ご確認ください。手動によるエリア外受信等をリモコンに登録している場合、「チャンネル再設定」を行うと、登録が消える場合があります。その場合、再登録が必要となります。録画機の番組録画予約の状況もご確認ください。

電話 26-9004

はい！保健センターです

町内で乳児のタバコの誤飲は無くなりません。子どものたばこ関連の被害を無くすためには、どうしたらよいのでしょうか。

赤ちゃんがハイハイなど移動が出来るようになると、思いがけないものに手を伸ばすようになります。発達を喜ぶと同時に子どもの安全確保が重要になってくる時期です。昨年度の3～4か月児健診でのアンケートによると、町内の乳児のいる家庭の6割で父母のどちらか、もしくは両方が喫煙していました。喫煙者のいる家庭では、子どもの手の届くところにタバコを置かないことが大原則になります。

子どもをタバコから守るために

お父さんお母さんのお話を聞いていると、子どもに煙を吸わせないためにいろいろ対策を取っている方も多くいました。でも効果が期待できない方法もあります。

①空気清浄機・換気扇の下での喫煙→有害物質をほとんど取り除くことができない②子どものいる部屋の外や家の外での喫煙→服や髪、皮膚に付いた有害物質が部屋に漂います。また喫煙後数時間は、吐く息の一酸化炭素濃度が高い状態が続きます。せっかく外でタバコを吸っても、抱きあげられた赤ちゃんは親の息で苦しい思いをしているかもしれません。

子どものために禁煙

できるならやはり禁煙がベストの方法と言えます。親が喫煙者の場合、子どもが未成年で喫煙を始める確率が高まるというデータもあります。未成年での喫煙はがんになりやすく、ニコチン依存にもなりやすいうえ、依存の度合いも強くなる特徴があります。

乳児にかかわらず、子どもを健康に育てるため、タバコが身近にある環境を減らすことが必要です。